



# Cisco Emergency Responder の Disaster Recovery System Web インターフェイス

この付録では、Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) Disaster Recovery System Administration Web インターフェイスのページ上のフィールドについて説明します。

- [Backup Device List](#), 1 ページ
- [Schedule List](#), 3 ページ
- [Manual Backup](#), 5 ページ
- [\[Backup History\]](#) および [\[Restore History\]](#), 6 ページ
- [Backup Status](#), 8 ページ
- [Restore Wizard](#), 9 ページ
- [Restore Status](#), 11 ページ

## Backup Device List

[Backup] > [Backup Device] を選択すると、[Backup Device List] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Backup Device List] ページは、バックアップデバイスを一覧表示、追加、および削除するために使用します。

表 1 : [\[Backup Device List\] ページ](#), (2 ページ) は [Backup Device List] ページの説明です。

表 1 : [Backup Device List] ページ

フィールド	説明
<b>Backup Device List</b>	設定済みのバックアップ デバイスを一覧表示し、デバイス名、デバイス タイプ、デバイス パスを表示します。デバイス名のリンクをクリックすると、そのデバイスの [Backup Device] ページが表示されます。
[Add New] ボタン	新しいバックアップ デバイスを追加します。[Add] アイコンをクリックすると、[Backup Device] ページが表示されます。[Backup Device] ページの詳細については、表 2 : [Backup Device] ページ, (2 ページ) を参照してください。
[Select All] ボタンおよびアイコン	一覧表示されているすべてのバックアップ デバイスを選択します。
[Clear All] ボタンおよびアイコン	選択されているすべてのバックアップ デバイスの選択を解除します。
[Delete Selected] ボタンおよびアイコン	選択されたバックアップ デバイスを削除します。

表 2 : [Backup Device] ページ, (2 ページ) は、新しいバックアップ デバイスの追加に使用する [Backup Device] ページの説明です。

表 2 : [Backup Device] ページ

フィールド	説明
<b>Backup device name</b>	テキスト ボックスにデバイス名を入力します (必須)。
<b>Select Destination</b>	バックアップの保存先を選択するには、[Tape Device] または [Network Directory] オプション ボタンをクリックします (必須)。
Tape Device	プルダウン メニューからテープ デバイスの名前を選択します。
Network Directory	表示されたフィールドに、ネットワーク ディレクトリのサーバ名、パス名、ユーザ名、およびパスワードを入力します。
Number of backups to store on the Network Directory	プルダウン メニューを使用して、バックアップの数を選択します。
[Save] ボタンおよびアイコン	新しいバックアップ デバイスに関する情報を保存します。

フィールド	説明
[Back] ボタンおよびアイコン	[Backup Device List] ページに戻ります。

## 関連トピック

[バックアップ デバイスの追加](#)

# Schedule List

[Backup] > [Scheduler] を選択すると、[Schedule List] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Schedule List] ページを使用して、現在スケジュールされているバックアップの一覧表示、新しいスケジュールの追加、スケジュールの有効化および無効化を行います。指定の日時に開始されるようにバックアップをスケジュールでき、1 回または指定の頻度で実行されるように設定できます。また、バックアップする機能も指定できます。

表 3 : [Schedule List] ページ, (3 ページ) は [Schedule List] ページの説明です。

表 3 : [Schedule List] ページ

フィールド	説明
<b>Schedule List</b>	スケジュールされたすべてのバックアップを一覧表示します。スケジュールリスト名、デバイスパス、およびスケジュールのステータスが表示されます。スケジュールリスト名のリンクをクリックすると、そのスケジュールの詳細が表示されます。  (注) スケジュールバックアップの作成後、スケジュールを有効にする必要があります。そのためには、[Schedule List] でスケジュールを選択し、[Enable Selected Schedules] ボタンまたはアイコンをクリックします。
[Add New] ボタンまたはアイコン	新しいスケジュールを追加します。[Add] ボタンまたはアイコンをクリックすると、[Scheduler] ページが表示されます。[Scheduler] ページの詳細については、表 2 : [Backup Device] ページ, (2 ページ) を参照してください。
[Select All] ボタンまたはアイコン	一覧表示されているすべてのスケジュールを選択します。  (注) [Select All] ボタンは、スケジュールが設定されていない場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
[Clear All] ボタンまたはアイコン	選択されているすべてのスケジュールの選択を解除します。 (注) [Clear All] ボタンは、スケジュールが設定されていない場合にのみ表示されます。
[Delete Selected] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを削除します。 (注) [Delete Selected] ボタンは、スケジュールが設定されていない場合にのみ表示されます。
[Enable Selected Schedules] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを有効にします。 (注) [Enable Selected Schedules] アイコンは、スケジュールが設定されていない場合にのみ表示されます。
[Disable Selected Schedules] ボタンまたはアイコン	選択されたスケジュールを無効にします。 (注) [Disable Selected Schedules] ボタンは、スケジュールが設定されていない場合にのみ表示されます。

表 4 : [Scheduler] ページ, (4 ページ) に、[Scheduler] ページの説明を示します。

表 4 : [Scheduler] ページ

フィールド	説明
Status	[Scheduler] ページのステータスを表示します。
Schedule Name	テキスト ボックスにスケジュールの名前を入力します。
Select Backup Device	プルダウン メニューからバックアップ デバイスの名前を選択します。
Select Features	バックアップする機能として [Emergency Responder] を選択します。
Start Backup at	
Date	プルダウン メニューから、バックアップを開始する年、月、および日を入力します。
Time	プルダウン メニューから、バックアップを開始する時間および分を入力します。
Frequency	
Once	1回のバックアップをスケジュールするには、このオプション ボタンをクリックします。
Daily	日次バックアップをスケジュールするには、このオプション ボタンをクリックします。

フィールド	説明
Weekly	週次バックアップをスケジュールするには、このオプション ボタンをクリックします。 週次バックアップをスケジュールする日を指定するには、チェックボックスをオンにします。
Monthly	月次バックアップをスケジュールするには、このオプション ボタンをクリックします。
[Save] ボタンまたはアイコン	バックアップ スケジュール情報を保存します。
[Set Default] ボタンまたはアイコン	入力された情報を、スケジュールされたバックアップのデフォルトとして保存します。
[Disable Schedule] ボタンまたはアイコン	スケジュールを無効にします。 スケジュールが現在無効である場合、このボタンはグレー表示されます。
[Enable Schedule] ボタンまたはアイコン	スケジュールを有効にします。 スケジュールが現在有効である場合、このボタンはグレー表示されます。
[Back] ボタンまたはアイコン	[Scheduler List] ページに戻ります。

#### 関連トピック

[\[Backup History\] および \[Restore History\]](#), (6 ページ)

[Backup Status](#), (8 ページ)

[バックアップ スケジュールの作成と編集](#)

[バックアップ スケジュールの管理](#)

## Manual Backup

[Backup] > [Manual Backup] を選択すると、[Manual Backup] ページが表示されます。

#### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

#### 説明

[Manual Backup] ページを使用して、手動バックアップを開始します。



(注) 手動バックアップを開始する前に、クラスタ内のすべてのサーバが動作しており、ネットワーク上で到達可能であることを確認します。動作していないか、ネットワーク上で到達可能でないサーバは、バックアップされません。

表 5 : [Manual Backup] ページ, (6 ページ) に、[Manual Backup] ページの説明を示します。

表 5 : [Manual Backup] ページ

フィールド	説明
Select Backup Device	プルダウンメニューからバックアップデバイスの名前を選択します。
Select Features	バックアップする機能として [Emergency Responder] をオンにします。
[Start Backup] ボタンまたはアイコン	手動バックアップを開始します。
[Select All] ボタンまたはアイコン	一覧表示されているすべての機能を選択します。
[Clear All] ボタンまたはアイコン	選択されたすべての機能の選択を解除します。

#### 関連トピック

[Schedule List](#), (3 ページ)

[手動バックアップの開始](#)

## [Backup History] および [Restore History]

[Backup History] ページは、[Backup] > [History] を選択すると表示されます。[Restore History] ページは、[Restore] > [History] を選択すると表示されます。

#### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

#### 説明

[Backup History] ページは、過去のバックアップに関する情報を表示するために使用します。[Restore History] ページは、過去の復元操作に関する情報を表示するために使用します。

表 6 : [Backup History] ページ, (7 ページ) に、[Backup History] ページの説明を示します。

表 6 : [Backup History] ページ

フィールド	説明
Backup History information	過去のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Tar ファイル名</li> <li>• バックアップデバイス</li> <li>• 完了日</li> <li>• 結果</li> <li>• バックアップされた機能</li> </ul>
[Refresh] ボタンまたはアイコン	[Backup History] ページの情報を更新します。

表 7 : [Restore History] ページ, (7 ページ) に, [Restore History] ページの説明を示します。

表 7 : [Restore History] ページ

フィールド	説明
Restore History information	過去のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Tar ファイル名</li> <li>• バックアップデバイス</li> <li>• 完了日</li> <li>• 結果</li> <li>• 復元された機能</li> </ul>
[Refresh] ボタンまたはアイコン	[Restore History] ページの情報を更新します。

#### 関連トピック

- [Schedule List, \(3 ページ\)](#)
- [Manual Backup, \(5 ページ\)](#)
- [Backup Status, \(8 ページ\)](#)
- [Restore Wizard, \(9 ページ\)](#)
- [Restore Status, \(11 ページ\)](#)
- [バックアップおよび復元履歴](#)

# Backup Status

[Backup] > [Current Status] を選択すると、[Backup Status] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Backup Status] ページは、現在のバックアップに関するステータス情報を表示するために使用します。

表 8 : [Backup Status] ページ, (8 ページ) は [Backup Status] ページの説明です。

表 8 : [Backup Status] ページ

フィールド	説明
Status	現在のバックアップのステータスに関する情報を提供します。
Backup Details	現在のバックアップに関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Tar ファイル名</li> <li>• バックアップ デバイス</li> <li>• 操作</li> <li>• 完了率</li> <li>• 機能</li> <li>• サーバ</li> <li>• コンポーネント</li> <li>• ステータス</li> <li>• 結果</li> <li>• 開始時間</li> <li>• ログ ファイル</li> </ul>
[Refresh] ボタンまたはアイコン	現在のバックアップに関する情報を更新します。
[Cancel Backup] ボタンまたはアイコン	現在のバックアップをキャンセルします。



## 関連トピック

[Schedule List](#), (3 ページ)

[バックアップ ステータスの確認](#)

# Restore Wizard

[Restore] > [Restore Wizard] を選択すると、[Restore Wizard] ページが表示されます。

## 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

## 説明

[Restore Wizard] ページを使用して、サーバのバックアップファイルまたはクラスタの前サーバの復元を行います。復元ウィザードは 4 つの Web ページで構成されています。

バックアップに使用するバックアップ デバイスを選択するには、[Step1 Restore—Choose Backup Device] ページを使用します。

表 9 : [\[Step1 Restore—Choose Backup Device\] ページ](#), (9 ページ) に、[Step1 Restore—Choose Backup Device] ページの説明を示します。

表 9 : **[Step1 Restore—Choose Backup Device]** ページ

フィールド	説明
Status	リカバリ操作の現在のステータスを示します。
Select Backup Device	プルダウンメニューを使用して、バックアップデバイスを選択します。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元するバックアップ tar ファイルを選択するには、[Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページを使用します。

表 10 : [\[Step2 Restore—Choose the Backup Tar File\] ページ](#), (10 ページ) に、[Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページの説明を示します。

表 10 : [Step2 Restore—Choose the Backup Tar File] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Select Backup File	プルダウンメニューを使用して、バックアップする tar ファイルを選択します。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元する機能を選択するには、[Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページを使用します。

表 11 : [Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページ, (10 ページ) は、[Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページの説明です。

表 11 : [Step3 Restore—Select the Type of Restore] ページ

フィールド	説明
Status	復元操作の現在のステータスを示します。
Select Features	バックアップする Emergency Responder 機能を選択するには、Emergency Responder 機能名の左側にあるボックスをクリックします。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Next] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの次のページに進みます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

復元するサーバを選択するには、[Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページを使用します。

表 12 : [Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページ, (11 ページ) に、[Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページの説明を示します。

表 12 : [Step4 Restore—Final Warning for Restore] ページ

フィールド	説明
<b>Status</b>	復元操作の現在のステータスを示します。
<b>Warning</b>	復元操作によって、選択されたサーバにある既存のデータすべてが上書きされることを伝える警告メッセージが表示されます。
<b>Select the Servers to be restored for each Feature</b>	Emergency Responder 機能名の下で、復元するサーバを選択します。それには、サーバ名の左側にあるチェックボックスをオンにします。
[Back] ボタンまたはアイコン	復元ウィザードの前のページに戻ります。
[Restore] ボタンまたはアイコン	復元操作を開始します。 <b>[Restore]</b> をクリックする前に、復元するサーバを選択する必要があります。復元するパブリッシュまたはサブスクライバを選択できますが、両方は選択できません。  <b>注意</b> 復元操作によって、選択したサーバにある既存のデータは上書きされます。
[Cancel] ボタンまたはアイコン	復元操作をキャンセルします。

### 関連トピック

[\[Backup History\]](#) および [\[Restore History\]](#), (6 ページ)

[Restore Status](#), (11 ページ)

[バックアップ ファイルの復元](#)

[サーバ グループの復元](#)

## Restore Status

[Restore] > [Status] を選択すると、[Restore Status] ページが表示されます。

### 許可の要件

このページにアクセスするには、プラットフォーム管理者の権限が必要です。

### 説明

[Restore Status] ページは、復元操作のステータスを表示するために使用します。

表 13 : [\[Restore Status\] ページ](#), (12 ページ) は [Restore Status] ページの説明です。

表 13 : [Restore Status] ページ

フィールド	説明
Status	現在の復元操作のステータスに関する情報を提供します。
Restore Details	現在の復元操作に関する次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Tar ファイル名</li> <li>• バックアップ デバイス</li> <li>• 操作</li> <li>• 完了率</li> <li>• 機能</li> <li>• サーバ</li> <li>• コンポーネント</li> <li>• ステータス</li> <li>• 結果</li> <li>• 開始時間</li> <li>• ログ ファイル</li> </ul>
[Refresh] ボタンまたはアイコン	現在の復元操作に関する情報を更新します。

#### 関連トピック

[Restore Wizard](#), (9 ページ)

[\[Backup History\]](#) および [\[Restore History\]](#), (6 ページ)

復元ステータスの表示

バックアップおよび復元履歴